**令和４年度沖縄県大学バレーボール秋季大会開催要項**

主催：沖縄県大学バレーボール連盟

主管：名桜大学

1. **期　　　日：**令和４年10月2日(日)
2. **会　　　場：**名桜大学体育館
3. **プログラム：9:00〜9:30コート設営、及び第二試合以降のチームの練習**

**9:20〜9:30 代表者会議（※第二試合以降のチームの練習中に行う。）**

**9:30〜9:40 開会式**

**9:40〜9:49 第一試合目のチーム練習**

**9:49〜10:00 プロトコール、公式練習**

**10:00 試合開始**

1. **参加資格：**2022年度(公財)日本バレーボール協会並びに沖縄県大学バレーボール連盟登録規定により有効に登録されたチーム・選手とスタッフ(個人登録)であり、大学生で組織された単独チームであること。
2. **競技規則：**2022年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則及び大会申し合わせ事項による。
3. **競技方法**
   1. 試合は全試合3セットマッチとする。（各セット25点マッチ）
   2. 各チーム総当たりとする。
4. **チーム構成及び登録**
   1. 事前登録(代表者会議で最終確認)は、部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーは各１名とし、選手登録は２０名以内とする(計２５名)。

各試合時のエントリーでは、事前登録した部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーは各１名と事前登録した選手２０名の中から選手14名以内(注参考)とする。(計19名)。

* 1. 部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー、選手の最終登録は、代表者会議の際に行うエントリー変更届をもって決定する。それ以後は部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー、選手、背番号の変更は一切認めない。

(注)①登録12名の場合のリベロの数は0･1･2名のいずれかでよい

➁登録13名の場合のリベロの数は2名でなければならない

③登録14名の場合のリベロの数は2名でなければならない

1. **試合球：**男子＝ミカサ(V300W)検定5号球

女子＝モルテン(V5M5000)検定5号球

を使用する。

1. **申し込み：**申し込みは、以下のメールアドレスに申し込むこととする。

申込先：平安座大輝（琉球大学）

メールアドレス：henzataiki06301285@au.com

1. **締　　　切：**令和4年9月25日(日)必着
2. **参加料：**5,000円（当日徴収）／１チーム
3. **表　　　彰**:表彰は下記のとおり行う。

（1）入賞チームには賞状を授与する。

（2）写真撮影時は、ユニフォームを着用。チームスタッフは統一された服装であること。

1. **競技規則**
2. 試合間は10分間とし、前の試合の終了から、次の試合のプロトコールにおける公式練習開始までの間とする。
3. 連続試合の場合は試合間を20分とする。
4. プロトコールの手順は下記に記載した通りに行う。
5. **その他：**

（1）大会会場での急病人や負傷者については応急手当てを行うが、それ以上の責任は負わな

い。

（2）新型コロナ感染拡大防止及び、安全性の観点から顧みて、急遽大会の運営方針を変更す

る場合もあることに留意すること。（中止または延期する可能性がある。）

（3）沖縄県からの要請措置事項が発表された際は、その内容を遵守し大会を行うとする。

1. **申込みに関するお問い合わせ先**

連絡先：新垣　尊純　（琉球大学）

　　　メールアドレス：[e206309@eve.u-ryukyu.ac.jp](mailto:e206309@eve.u-ryukyu.ac.jp)

プロトコール

3セットマッチ

《試合開始前》

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 時間 | チーム | 主審-副審 |
|  | 試合前 | 両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォームアップすることができる。 | 両審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置およびサイドバンドの位置をチェックする。 |
| １ | 11分前 | チームキャプテンは、トスのためにスコアラーズテーブルへ行く。トスの後、記録用紙にサインする。主審は、スコアラーズテーブル前で、副審を立ち合わせてトスを行う。副審は両方のチームキャプテン、監督をスコアラーズテーブルに導き、記録用紙にサインをさせる。 | 主審は、スコアラーズテーブル前で、副審を立ち合わせてトスを行う。副審は両方のチームキャプテン、監督をスコアラーズテーブルに導き、記録用紙にサインをさせる。 |
| ２ | 10分前 | 両チームが一緒か、または個別に(サービス権を得たチームから)公式ウォームアップを開始する。両チームが一緒か、または個別に(サービス権を得たチームから)公式ウォームアップを開始する。 | 主審は、公式ウォームアップ開始をホイッスルする。そして、ボール、記録用紙、ブザー、ユニフォームなどゲームに必要な道具をチェックする。ラインジャッジ、ボールリトリバー、モッパーと打ち合わせを行う。副審は、公式ウォームアップの時計を行う。 |
| ３ | 7分前 | 個別に公式ウォームアップを行っている場合は、交替する。 | 副審は、各チームが個別に公式ウォームアップを行っている場合は、その交替をホイッスルで合図する。 |
| ４ | ４分前 | 公式ウォームアップを終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチへ戻る。 | 主審は、公式ウォームアップの終了をホイッスルする。 |
| ５ | 3分前 | 全プレーヤーは、エンドライン上に整列する。主審のホイッスルでネット付近で最初に両チームキャプテンが握手する。続いてチームメンバーが握手する。その後、各チームのメンバーはベンチに戻り、スターティングプレーヤーは、ユニフォーム姿で待機する。 | 主審は、両チームのプレーヤーをエンドライン上に導く。主審と副審は審判台の前で、ネットを挟んでスコアラーズテーブル側から見て左側に主審、右側に副審が位置する。両チームが整列したら、挨拶(握手)を交わすようにホイッスルする。審判役員はそれぞれの定位置につく。 |
| ６ | 1分30秒前 | 主審のホイッスルで、スターティングプレーヤーはベンチから直接コートに入る。 | 主審はホイッスルで、プレーヤーをコート内へ導く。副審は、サービスゾーンの右側に位置しているボールリトリバーにボールを1つずつ送る。副審および記録員はそれぞれスターティングラインアップを照合する。その後、副審はボールを７最初のサーバーに送る。 |
| ７ | 0分前 | 最初のサーバーは、主審のサービス許可のホイッスルによりサービスを行う。 | 主審は、サービス許可のホイッスルをする。 |

《セット間》

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １ | セット終了時 | セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。プレーヤーは、主審のホイッスルで、向かって右側のサイドラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら直接それぞれのベンチに戻る。 | 主審は、両チームのプレーヤーがエンドライン上に整列したら、コートチェンジするようホイッスルとシグナルで合図する。 |
| ２ | 2分30秒後 | プレーヤーは、副審のホイッスルにより、ベンチから直接コートに入る。 | 副審は、記録員の合図を受けて両チームにコートに入るようにホイッスルで合図する。副審と記録員は、その後直ちにスターティングラインアップを照合する。 |